

インバウンドセミナー

～回復が本格化するインバウンド需要と今すぐやるべきこととは～

訪日外国人旅行者が全国的に回復傾向にある中、はちのへエリアにおいても2023年4～6月の外国人の宿泊者数は、コロナ前の2019年度比約93%の回復傾向となっております。

一方で、インバウンド需要の現状やメリット、対応に不安を抱えている方も多いのではないのでしょうか。そこで、地域事業者や自治体の皆様に、インバウンドにおけるはちのへエリアのポテンシャルやメリットを感じてもらい、受入れの機運醸成を図るためのセミナーを開催します。

また、訪日外国人旅行者の楽しみの一つに「日本食を食べること」が挙げられることから、ベジタリアンやヴィーガンなどの『食の多様性』への対応が求められています。

本セミナーでは、はちのへエリアにおいてインバウンドに取り組む意義、『食の多様性』への理解と取り組むためのヒントについてご講演いただきます。

受講
無料

開催日 令和5年 9月21日(木) 13:30～16:15 (受付 12:30～)

会場 ユートリー 1階 多目的大ホール (八戸市一番町 1-9-22)

受講料 無料

申込方法 【FAX】 0178-46-2810
【申込フォーム】 QRコード参照



申込期限 令和5年 9月11日(月)

【第1部】 13:45～14:55

インバウンドがもたらす地域経済効果と インバウンドに取り組む意義

講師 / 村山 慶輔 氏

(株)やまごころ 代表取締役



兵庫県神戸市出身。米国ウィスコンシン大学マディソン校卒。2000年アクセンチュア株式会社戦略グループ入社。2006年退社後、2007年より国内最大級のインバウンド観光情報サイト「やまごころ.jp」を運営。

「インバウンドツーリズムを通じて日本を元気にする」をミッションに、内閣府観光戦略実行推進有識者会議メンバー、観光庁最先端観光コンテンツインキュベーター事業委員をはじめ、国や地域の観光政策に携わる。

国内外のメディアへ出演多数。

著書『インバウンド対応実践講座』(翔泳社)、『観光再生 サステナブルな地域をつくる28のキーワード』(プレジデント社)など。

高収益な観光業を目指す経営者向け会員サービス「観光バリューアップ実践会」主宰。

【第2部】 15:05～16:15

八戸の資源を活かせる！ 今日からできるベジタリアン、ヴィーガン等 の多様化する食文化対応

講師 / 守護 彰浩 氏

フードダイバーシティ(株) 代表取締役



楽天株式会社を経て、2014年1月より6か国語で日本国内のハラール情報を発信するポータルサイトHALAL MEDIA JAPAN運営のほか、国内最大級のハラールトレードショー・HALAL EXPO JAPAN を4年連続で主催。2018年4月からベジタリアン事業にも注力し、中国語でのベジタリアン情報サイト「日本素食餐廳攻略」をスタート。

2020年には英語圏のベジタリアンに情報を届けるために、世界最大のベジタリアンアプリである HappyCow と日本企業で唯一の業務提携を交わす。フードダイバーシティをコンセプトにハラール、ベジタリアン、ヴィーガン、コーシャなど、あらゆる食の禁忌に対応する講演やコンサルティングを提供中。

2020年には総理大臣官邸で開催された観光戦略実行推進会議にて、菅元総理大臣に食分野における政策を直接提言した。

【主 催】